

18. 大腿骨近位部骨折患者における早期リハビリテーション開始率

算式

【分子】 分母対象例のうち、手術年月日から数えて4日以内に
「H002運動器リハビリテーション料」を算定している患者（EFファイル）

【分母】 様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」が次のいずれかの退院患者（ICD-10：①M2435、②M2445、③S7200、④S7210、⑤S7220、⑥S7230、⑦S7270、⑧S7280、⑨S7290、⑩S730=MDC160800）及び、当該入院期間中に「K0461（大腿）」、「K0731（股）」、「K0811（股）」のいずれかを算定している患者（EFファイル：部位はレセプト電算コードにより識別）

※分母除外項目

1. 手術後3日以内に退院した患者
2. 当該入院期間中の様式1の手術情報に異なる手術日が2日以上ある

定義

大腿骨近位部骨折の入院患者のうち、手術日から4日以内にリハビリテーションが実施された患者の割合

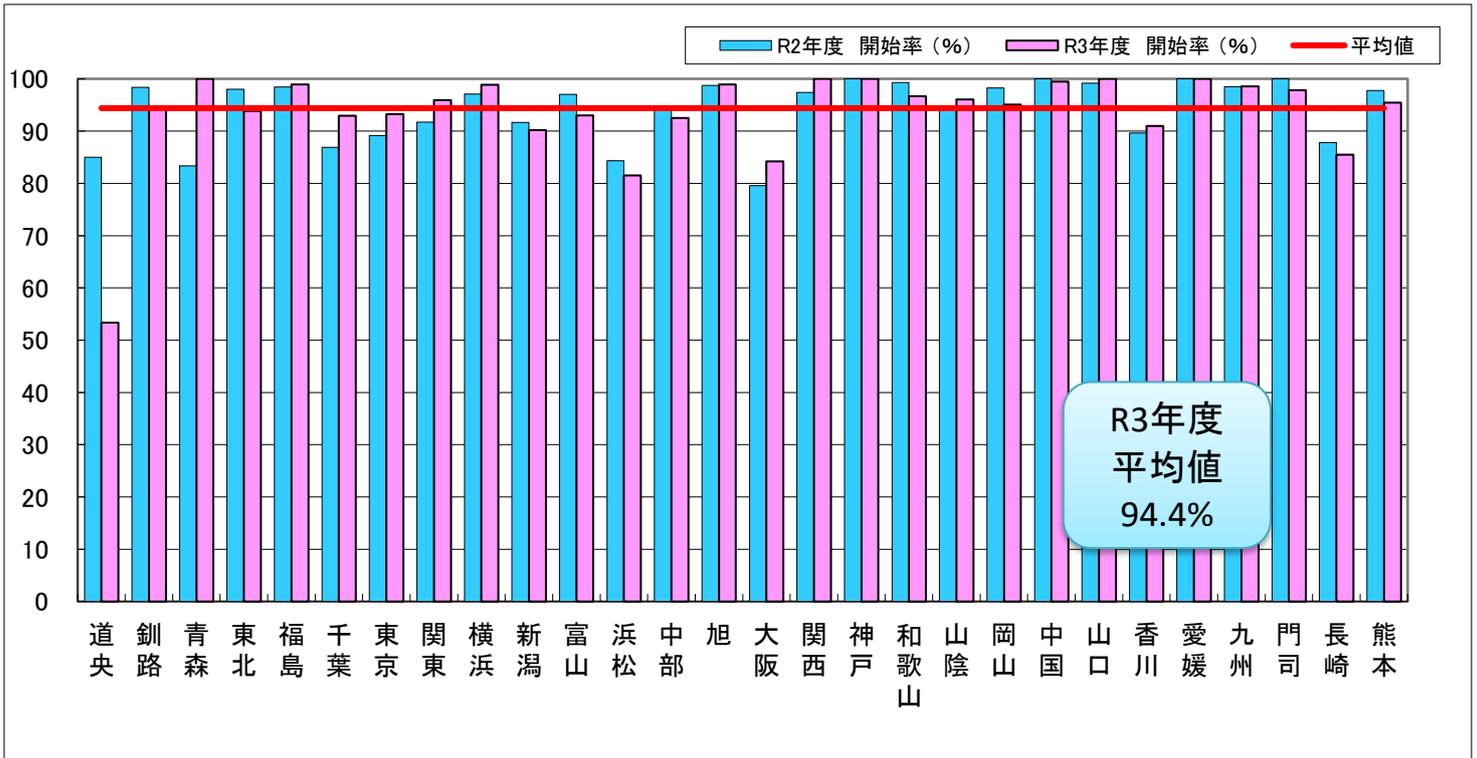
指標の解説

DPCデータより抽出

大腿骨近位部骨折患者に対して術後速やかに座位をとらせ、早期から起立・歩行を目指して下肢筋力強化訓練を行うことにより早期回復、早期退院に向けた取組を行っている状況から評価する。

実施率が高い場合には、患者の早期社会復帰に積極的に取り組んでいると評価できる。

18. 大腿骨近位部骨折患者における早期リハビリテーション開始率



No	施設名	R2年度			R3年度		
		分母	分子	開始率 (%)	分母	分子	開始率 (%)
1	道 央	20	17	85.0	15	8	53.3
2	釧 路	62	61	98.4	73	69	94.5
3	青 森	42	35	83.3	46	46	100.0
4	東 北	50	49	98.0	49	46	93.9
5	福 島	128	126	98.4	91	90	98.9
6	千 葉	84	73	86.9	113	105	92.9
7	東 京	83	74	89.2	74	69	93.2
8	関 東	193	177	91.7	197	189	95.9
9	横 浜	103	100	97.1	89	88	98.9
10	新 潟	108	99	91.7	102	92	90.2
11	富 山	68	66	97.1	57	53	93.0
12	浜 松	115	97	84.3	119	97	81.5
13	中 部	89	84	94.4	133	123	92.5
14	旭	157	155	98.7	182	180	98.9
15	大 阪	44	35	79.5	38	32	84.2
16	関 西	38	37	97.4	34	34	100.0
17	神 戸	49	49	100.0	55	55	100.0
18	和 歌 山	137	136	99.3	149	144	96.6
19	山 陰	118	111	94.1	127	122	96.1
20	岡 山	172	169	98.3	162	154	95.1
21	中 国	190	190	100.0	192	191	99.5
22	山 口	123	122	99.2	135	135	100.0
23	香 川	116	104	89.7	133	121	91.0
24	愛 媛	26	26	100.0	25	25	100.0
25	九 州	135	133	98.5	136	134	98.5
26	門 司	35	35	100.0	46	45	97.8
27	長 崎	262	230	87.8	234	200	85.5
28	熊 本	180	176	97.8	154	147	95.5
合 計		2,927	2,766	94.5	2,960	2,794	94.4
平均	500床以上	86.2	80.3	93.2	90.0	85.3	94.8
	400床以上	127.7	123.0	96.3	127.0	121.8	95.9
	300床以上	132.0	123.7	93.7	131.7	122.4	93.0
	300床未満	65.1	61.9	95.0	67.6	64.1	94.9